

記載例2:双方日本人で外国の方式で婚姻

婚姻届

窓口で届け出る日
若しくは、郵送する
日を記載してください。

令和 **XX** 年 **XX** 月 **XX** 日 届出

在メルボルン日本国総領事 殿

<記入の際の注意事項>

- ・届出はすべて日本語（漢字・カタカナ・ひらがな）で書いてください。
- ・黒インクのペンまたは黒のボールペン（消せるボールペンは不可）で丁寧に書いてください。
- ・South Australia は南オーストラリア州と記載してください。

元号で記入。

(1)

	夫になる人	妻になる人
(フリガナ)	ガイム タロウ	ザイガイ ハナコ
氏名	氏 外務 名 太郎	氏 在外 名 花子
生年月日	平成 XX 年 XX 月 XX 日	平成 XX 年 XX 月 XX 日

(2)

住所	オーストラリア連邦ビクトリア州	同 左
	ブライトン, OO通り570番	

(3)

本籍	東京都千代田区	神奈川県 横浜市 西区
(外国人のときは国籍だけを書いてください)	霞が関二丁目2 番地 2	幸町3 番地 2
筆頭者の氏名	外務 一郎	在外 義太郎
父母及び養父母の氏名 父母との続き柄	父 外務 一郎 続き柄 長 男 母 花子 続き柄 二 女	父 甲野 次郎 続き柄 二 女 母 在外 正子 続き柄 二 女
(右記の養父母以外にも養父母がいる場合にはその他の欄に書いてください)	養父 続き柄 養 子 養母 続き柄 養 女	養父 在外 義太郎 続き柄 養 女 養母 続き柄 養 女

(4)

婚姻後の夫婦の氏・新しい本籍	☒ 夫の氏 新本籍 (左の☑の氏の人がすでに戸籍の筆頭者となっているときは書かないでください) ☐ 妻の氏 東京都千代田区霞が関2-2 二丁目2 番地 2
----------------	--

(5)

同居を始めたとき	令和 XX 年 XX 月 (結婚式をあげたとき、または、同居を始めたときのうち早いほうを書いてください)
----------	--

(6)

初婚・再婚の別	☒ 初婚 再婚 (☐ 死別 ☐ 離別 年 月 日) ☐ 初婚 再婚 (☐ 死別 ☒ 離別 平成 XX 年 XX 月 XX 日)
---------	--

(7)

同居を始める前の夫婦のそれぞれの世帯のおもな仕事と	<table><tbody><tr><td>夫</td><td>妻</td><td>1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯</td></tr><tr><td>夫</td><td>妻</td><td>2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯</td></tr><tr><td>夫</td><td>妻</td><td>3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5)</td></tr><tr><td>夫</td><td>妻</td><td>4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5)</td></tr><tr><td>夫</td><td>妻</td><td>5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯</td></tr><tr><td>夫</td><td>妻</td><td>6. 仕事をしている者のいない世帯</td></tr></tbody></table>	夫	妻	1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯	夫	妻	2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯	夫	妻	3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5)	夫	妻	4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5)	夫	妻	5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯	夫	妻	6. 仕事をしている者のいない世帯
夫	妻	1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯																	
夫	妻	2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯																	
夫	妻	3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5)																	
夫	妻	4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5)																	
夫	妻	5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯																	
夫	妻	6. 仕事をしている者のいない世帯																	

(8)

夫婦の職業	(国勢調査の年… 年…の4月1日から翌年3月31日までに届出をするときだけ書いてください) 夫の職業 02 妻の職業 03
-------	--

令和 **XX** 年 **XX** 月 **XX** 日 **オーストラリア連邦** の方式により婚姻成立、**ビクトリア州当局** 作成の婚姻証書添付。

その他	
届出人署名 (※押印は任意)	夫 外務 太郎 妻 在外 花子
事件簿番号	

届出人署名 (※押印は任意)	夫 外務 太郎 妻 在外 花子
-------------------	-------------------------------

事件簿番号	
-------	--

日中連絡のつく電話番号： **04XX-XXX-XXX**

Eメールアドレス： **000@00.com**

証人

署名 (※押印は任意) 生年月日	印 年 月 日	印 年 月 日
住所	記入不要	
本籍	番地 番	番地 番

父母がいま婚姻しているときは、
母の氏は書かないで、名だけ書いてください。養父母についても同じように書いてください。

本籍地はダッシュ「-」等を使わず
戸籍通りに記載。書き間違えた場合は線で消してください。修正液は使用不可。（※訂正印は任意。）

新本籍地を現在とは別の場所に置く場合は、
事前に新本籍を置きたい土地を管轄する市区町村役場の戸籍課にその土地に本籍を置く事ができるか確認の上、正しく記載してください。

「職業例示表」を参照し、当てはまる職業の「番号」若しくは「職業分類名」を記入してください。

楷書体で署名し、印鑑又は右手の親指で拇印を押してください。（※押

連絡のつく電話番号とEメールアドレスを
書いてください。

選択した方が戸籍
の筆頭者になります。

戸籍通りに楷書で署名。
手書きで記載してください。